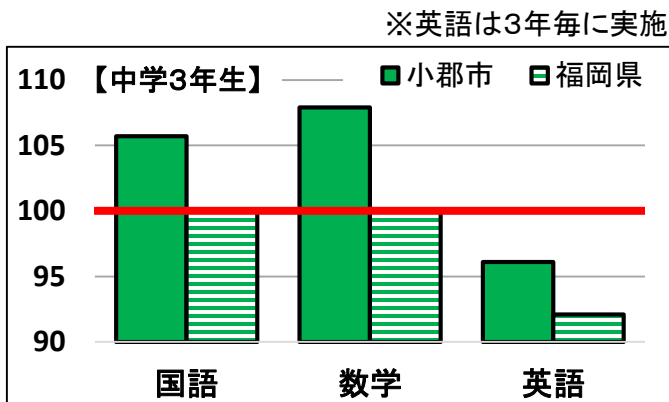
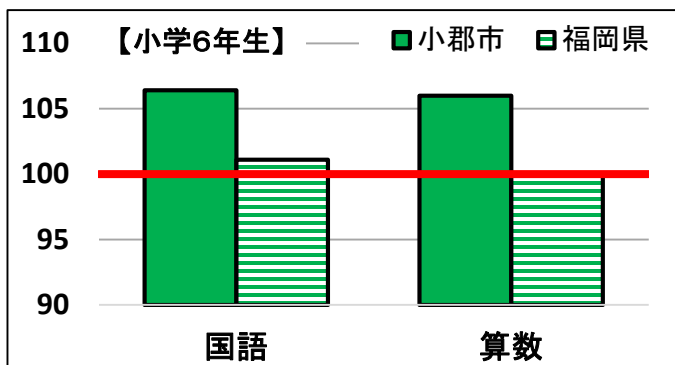


小郡市教育委員会から保護者・地域の皆様へ

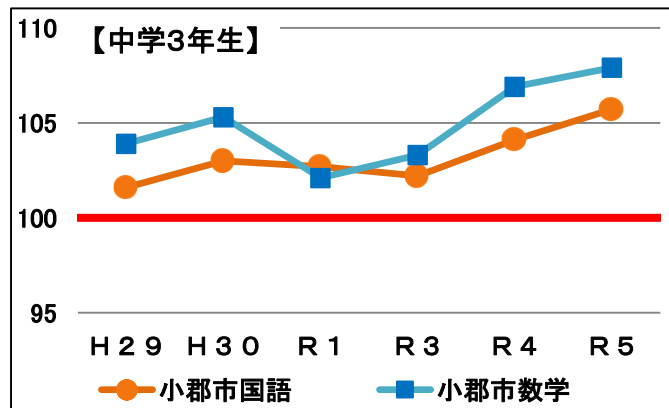
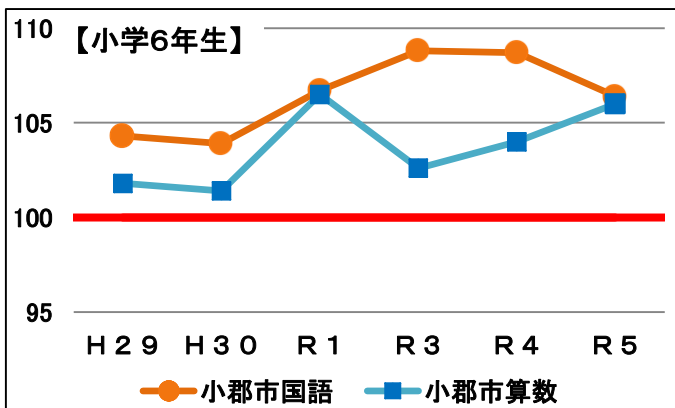
文部科学省は、小学6年生と中学3年生を対象に令和5年度「全国学力・学習状況調査」を4月に実施しました。全国、福岡県と比較した小郡市全体の概要と今後の取組についてお知らせします。

※本調査は「生きて働く『知』の学力」の一部を測るものであることを踏まえてご覧ください。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果 ※全国の平均を100(赤の横線)

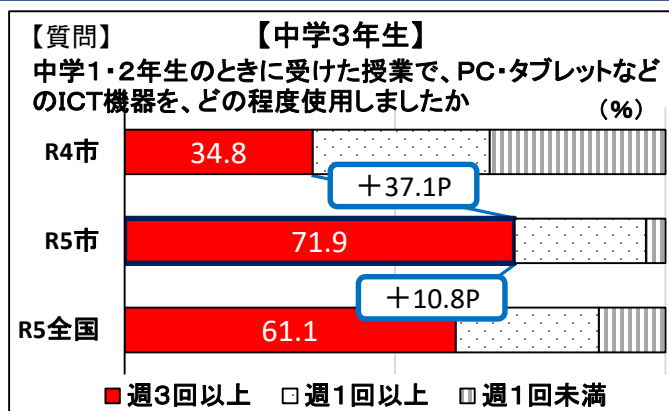
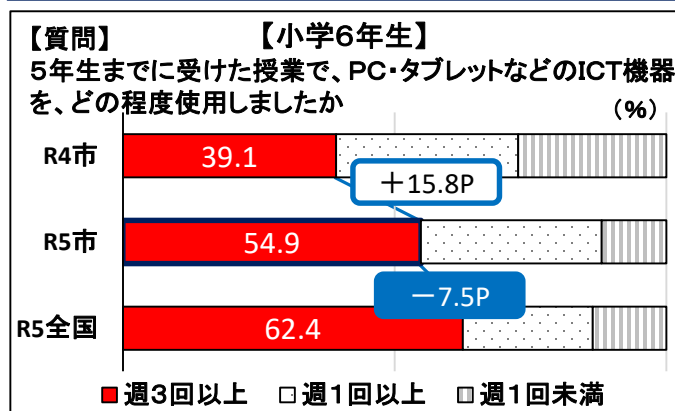


過去6年間の学力の経年変化 (R2は実施なし) ※全国の平均を100(赤の横線)



小郡市は、小・中学校ともに、国語・算数(数学)の値は全国平均を上回っています。学校の授業改善の継続的な取組により、平成29年度からの経年変化をみると、学力は上昇傾向にあります。

児童生徒質問紙における【主体的・対話的で深い学び】×【ICT活用】の相関

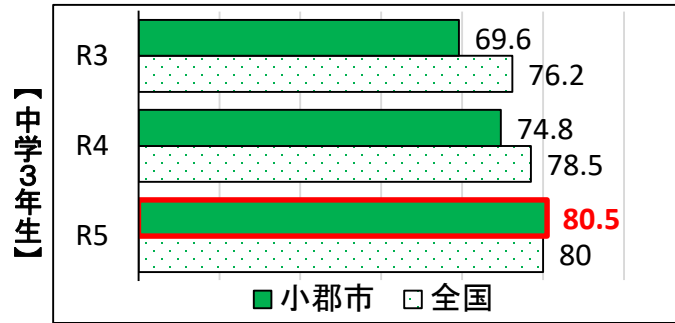
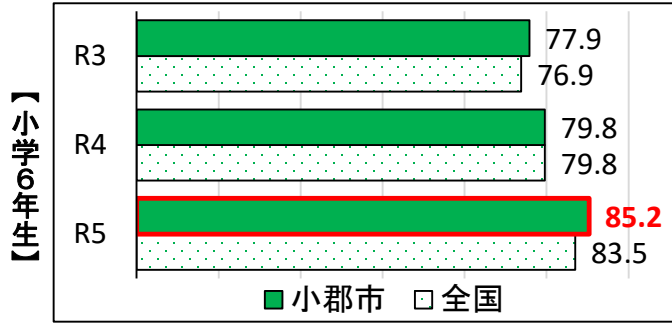


文部科学省は、『主体的・対話的で深い学び』からの授業改善を行っている学校ほど、ICT機器を活用している、と分析しています。「週3回以上」タブレット等を活用したと回答した児童生徒は、令和4年度と比較し、小学校15.8P、中学校37.1P向上しています。しかし、小学校は全国値よりも低く、さらに活用を進める必要があります。

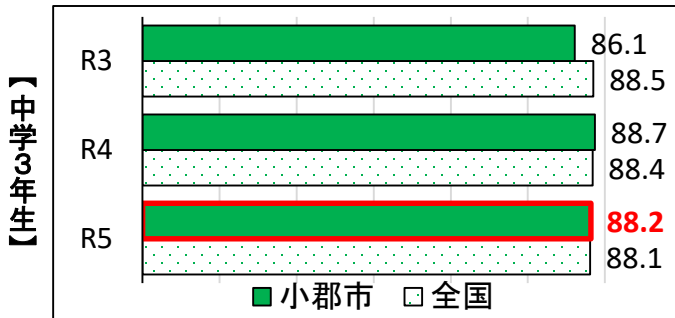
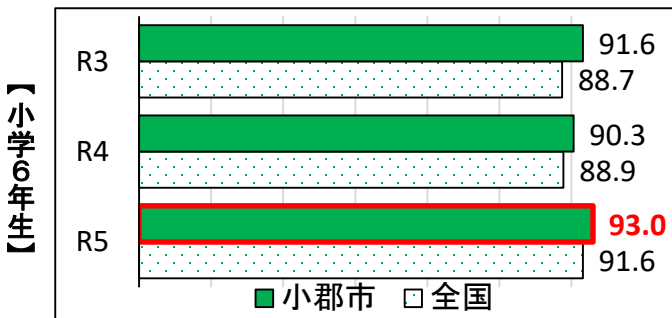
【小郡市の課題】算数・数学において、基礎的な問題内容でつまづきがみられました。基礎的な内容を理解・定着させ、9年間を通して「確かな学力」を育成し、学力保障・進路保障を図る必要があります。

児童生徒質問紙から見える「小郡市教育推進構想」の観点からの子どもたちの育ち

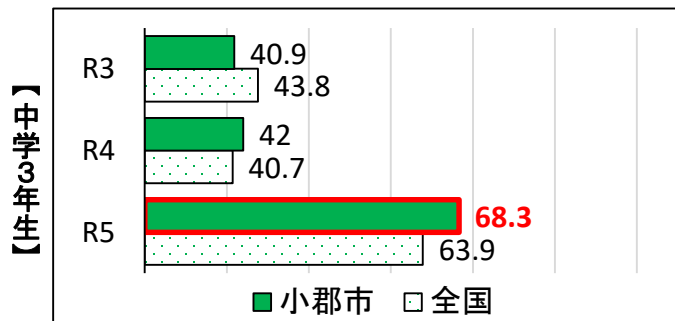
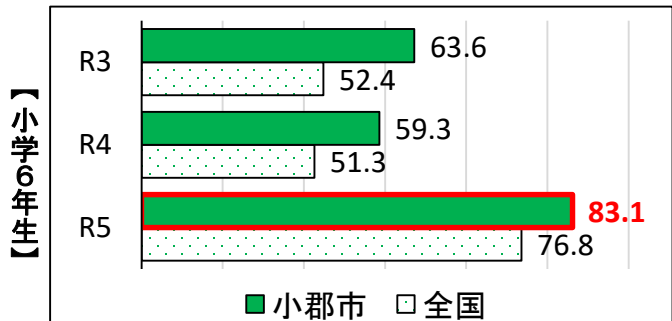
【自律】夢や願いに向かって逞しく進もうとする子 → 「自分には、よいところがある」と回答した割合(%)



【共想】人とつながりあって心を働かせようとする子 → 「人が困っているときは、助ける」と回答した割合(%)



【郷生】喜びあふれる豊かな郷土をつくらうとする子 → 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した割合(%)



いずれの項目でも値が年々向上し、全国を上回っています。これは、「自律」「共想」「郷生」の3つの目標に向かって各学校で学校教育の重点目標を作成し、地域・保護者と連携した取組を積み重ねた成果だと言えます。

小郡市における今後の取組

小郡市では、上記に紹介しました子どもたちのよさ・課題を踏まえ、学校、家庭、地域三者で協働して、子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」を育ててまいります。

市の取組

- ☆「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのICTの効果的な活用について優れた実践を広めます。
- ☆デジタルシチズンシップの観点で、情報を扱う際に正しく考え、判断することの大切さを啓発します。
- ☆「いだく」→「いどむ」→「いかす」という目標に向かう学びのプロセスを大切に教育を進めます。

学校の取組

- ☆「主体的・対話的で深い学び」を浸透させるために、ICTを効果的に活用した授業改善に力を入れます。
- ☆自分や人を守る立場から、安全に正しく機器を活用できるようにするための態度を育む情報モラル教育を進めます。
- ☆自分で考えたり、挑戦したりする場面を設定し、目標に向かう心を育てるとともに、基礎内容の習熟を図ります。

ご家庭へのお願い

- 以下について、ご協力をお願いします。
- ☆携帯電話やSNS等を使用する際は、家庭でルールを決めて、子どもとともに使用状況を確認め合う。
 - ☆家庭での会話やふれあい、読書などの時間をつくる。
 - ☆目標に向かい最後まで粘り強く取り組むことができるように見守り、励まし、頑張りを褒める。

地域へのお願い

- 以下について、ご協力をお願いします。
- ☆学校の学習や活動へのボランティア（ICT支援、丸付け、ふるさとの魅力紹介等）のご協力。
 - ☆地域において子どもたちが貢献・活躍できる場や居場所づくり。
 - ☆子どもたちのよさや頑張りを認め、称賛する声かけ。